

12月 December

月の別名▶暮来月(くれこづき) 年積月(としつみつき) 春待月(はるまちづき) 15日の日の出6時43分⇒日の入り16時29分 太陽のいる星座▶いて座★11月22日～12月21日★ 大雪▶大雪がふり始めるころの意味。霜柱が立ち始めます。冬至▶1年で最も夜の長い日。この日より日が伸びることから、古くはこの日を1年の始めとしました

落葉樹が葉を落とし、明るくなった林に鳥たちを見つけやすいころ。シロハラやアカハラは、落ち葉の下の虫を探します。落ち葉や落ちた枝は、菌類や土壌動物たちに分解されてやがて土に戻ります。昆虫などの小動物にとってはなくてはならない冬の住み家

になっています。庭や公園でふだん見ることの少ない落ち葉の中のいきものたちの世界をのぞいてみましょう。駒場野公園では、松ぼっくりを拾ってリースづくり、中目黒公園では園内で育てたイネの藁から「しめ縄飾り」をつくります

1 京都・熊本イロハカエデ紅葉

2 テントウムシが冬越しの場所を探すころ

3 駒場野公園ブルーベリー実るころ

4 ケヤキが落葉するころ
マンリョウの実色づくころ

5

6 小春日和のころ
駒場野公園十月桜が見ごろ

7 このころ大雪
鹿児島イロハカエデ紅葉

8

9 センリョウの実が赤く色づくころ

10 チャの花が咲くころ

11

12 中目黒公園ピロードモウズイカがロゼットで冬越

13 冬越しのルリタテハ見る

14

15 ヤツデの花が咲きだすころ

16

17 ドウダンツツジ紅葉のころ

18 駒場野公園自然観察舎で干し柿作り

19

20 カラスウリ赤い実が目立つ

21 目黒川セキレイ類多くなる

22 このころ冬至 かぼちゃを食べたりゆず湯に入る習慣

23 天皇誕生日 ホソヒラタアブこの時期でも活動

24

25 クリスマス

26 目黒川 60 cm級のボラ群冬期も見られる

27 ウグイスの笛鳴きを聞く

28 落葉樹の林でコゲラを見つけやすいころ

29 シジュウカラがみの虫などを食べる

30

31

38



1 January

1月*睦月*

月の別名▶初春月(はつはるづき) 霞初月(かすみそめづき) 早緑月(さみどりづき) 15日の日の出6時50分⇒日の入り16時51分 太陽のいる星座▶やぎ座★12月22日～1月19日★ 小寒▶この日から寒に入り、寒さが本格的になるという意味。節分までが「寒」。大寒▶寒さが最も厳しくなるという意味。陽射しは強くなり、春を感じられます

日当たりの良い足元の地面で、ロゼット状に葉を広げたセイヨウタンポポやオオイヌノフグリ、ハルノノゲシが早くも花を付けるころ。春の七草は、セリ、ナズナ、ゴギョウ(ハハコグサ)、ハコベラ、ホトケノザ(コオニタビラコ)、スズナ(蕪)、スズシロ(大根)。

駒場野公園では、園内で摘んだ野草を用い無病息災を願って、七草がゆをいただきます。碑文谷公園や目黒川には、キンクロハジロやホシハジロなどのカモたちが集い、オスたちがフィアンセ探しを始めています

- 1 元旦 フクジュソウ咲く
- 2 書き初め
東京初雪平均日
- 3 メジロが輪切りのみかんを
食べに庭に来るようになる
- 4 フキノトウが顔を出すころ
- 5 このころ小寒 シジュウカ
ラさえずり始めるころ
- 6 目黒川船入場コサギやアオ
サギがえさ採りに夢中
- 7 七草の節句
セリが芽をだすころ
- 8 ホンセイインコが群れ飛ぶ
姿を目にしやすいくころ
- 9 気の早いウグイスがさえず
るころ
- 10 碑文谷公園池キンクロハジ
ロなどカモ越冬
- 11 鏡開き
ピワ咲きだすころ
- 12
- 13 ヨモギ小さなロゼット
キジバトさえずり始める
- 14
- 15 成人の日(第2月曜日)
- 16 このころ蕪(やぶ)入り
- 17 セイヨウタンポポ咲く
スイセン花盛り
- 18
- 19 ビオトープの池でヤゴがひ
っそりと冬越しする
- 20 このころ大寒 ヤブツバキ
咲きだすころ
- 21 碑文谷公園池にカイツブリ
が飛来することがある
- 22 暖かい陽だまりでオオイヌ
ノフグリ咲きだすころ
- 23 静岡ウメ開花
- 24 ジョウビタキがピラカンサ
の実を食べるころ
- 25 アカハラやシロハラが庭や
公園を訪れるころ
- 26 鹿児島ウメ開花
- 27
- 28 初不動
オナガが庭を訪れるころ
- 29 駒場野公園コクワガタ朽木
の中で越冬 東京ウメ開花
- 30
- 31 鹿児島タンポポ開花

